

三
支
那
關
稅
改
正
案

01 663

REEL No. A-0284

0300

アジア歴史資料センター

支那關稅改正案

昭和十四年八月八日
中央及現地關係各官會決定

588

稅帶	品名	現行	改正率	備考
第四類 二四	別號ニ掲ゲザル絹織物(他ノ纖維トノ交織物ヲ含ム)	從價 四三%	從價 二五%	
	人造絹織物	四三%	二五%	
	丙絹ト人造絹トノ交織物	四五%	二五%	
	丁絹ト毛又ハ絹及毛ト植物纖維トノ交織物	四五%	二五%	
	戊人造絹ト毛又ハ人造絹及毛ト植物纖維トノ交織物	四五%	二五%	
	日絹ト植物纖維トノ交織物	三五%	二五%	
	庚人造絹ト植物纖維トノ交織物	三五%	二五%	
第五類				

664

589

第六類 二四九	二五〇	二五二
甲散荷ノモノ 乙纏詰ノモノ 丙其ノ他	海參 甲黒色ニシテ刺アルモノ 乙黒色ニシテ刺ナキモノ 丙白色ノモノ	貝柱
每百斤 二九七六 (容器共) 一一〇七	每百斤 二八一〇 二三一四 一〇、五八	每百斤 一九八四
每百斤 二〇〇〇 (容器共) 六三〇	每百斤 一七五〇 一、二五〇	每百斤 一六〇〇
從價 一二五% 從價 一五%		
本號「農業用機械、器具及同部分品」ニ改ム		

665

二六八	昆布(調製シタルモノ)	一、五八七	一、一五〇
二七〇	鱧(調製シタルモノ)	四一三、三六	二〇〇、〇〇
二七二	鱧(調製セザルモノ)	二八二〇	二〇〇、〇〇
	甲) 百疋ノ價格ハ七金單位ヲ超エザルモノ	九九二〇	二〇〇、〇〇
	乙) 百疋ノ價格ハ七金單位ヲ超エタルモノ	二六四五五	二〇〇、〇〇
二七八	バター	每百疋(容器共) 五六、二一	四四〇〇
二八〇	チーズ	從價 二五%	四四〇〇

二五五	乾鹽(背拔ノモノヲ含ム)	一、五七	〇、六〇
二五六	鰯(烏 賊)	九、二五	四、三〇
二五七	乾魚及鰯魚(乾鹽及烏賊ヲ含マズ)	四、二九	一、五〇
二五八	鮮魚	二、〇〇	一、〇〇
二六〇	魚 肚	每疋 一、二八九七	二、六〇
	甲) 一等品 (一疋ノ重量〇、六〇以上ノモノ)	每百疋 一、六五三四	六、一〇〇
	乙) 二等品 (一疋ノ重量〇、六〇未滿ノモノ)	每百疋 一、三三二二	四、二〇〇
二六四	乾蛤貝、乾牡蠣及乾揚卷	一、一四〇	五、〇〇〇
二六五	乾蝦及乾小蝦(散荷モノ)	一、三〇	〇、五五
二六六	昆布(刻ミタルモノ)	每百疋 〇、七〇	〇、五〇
二六七	昆布(長キモノ)	每百疋 〇、七〇	〇、五〇

三〇五	穀粉及別號ニ属ゲザル穀物	從價 一三・五%	三〇三	生 林 檜	每百疋 一・五〇	三〇四	大麥、蕎麥、玉蜀黍、粟、燕麥、粉、木、ライ麥及小麥	本號中「高粱」ヲ加フ	從價 一五%
	乙 其ノ他							乙 玉蜀黍粉及高粱粉 無稅	
	甲 紅 茶 粉	從價 一〇%						丙 磚茶 無稅	
	乙 其ノ他	二〇%						丙 其ノ他 二〇%	

二八七	油脂及油脂食品	從價 二〇%	二九七	甲 アスハラガス	每百疋(容器共) 一・三二	二九八	乙 クリーム及ミルク(蒸發又ハ殺菌シタルモノ)	每百疋(容器共) 四・五〇	從價 二〇%
	丙 果實(食卓用及製菓用)	從價 二〇%		丁 肉エキス	從價 一五%		戊 コンデンスドミルク	每百疋(容器共) 一・二〇七	從價 二〇%
	己 マーガリン及植物油類ヨリ製シタル同類似品	從價 二〇%		庚 糖油、ナリ、又、其ノ他別號	從價 三〇%		茶	從價 二〇%	

595

三六	三三	三四	三三	三二	三六
別號ニ掲ゲザル果實	野生人参	寒天	椎茸	砂糖	(和蘭標本色相第十一號未滿ノモノ)
	二金單位ヲ超エザルモノ	二金單位ヲ超エザルモノ	二金單位ヲ超エザルモノ	二金單位ヲ超エザルモノ	二金單位ヲ超エザルモノ
	每百斤 六・二八三	每百斤 二・四八〇	每百斤 四〇%	每百斤 二六・四五	每百斤 三・二四
			從價 四〇%		
				從價 三〇%	

671

594

三六	三三	三二	三二	三二	三二
別號ニ掲ゲザル果實	生鮮ナルモノ	甲一等品	乙二等品	丙三等品	丁四等品
	二金單位ヲ超エタルモノ	一担ノ價格一〇	一担ノ價格七三	一担ノ價格三二	一担ノ價格一八
	從價 一五%	每担 五七・八七一	每担 三九・六八三	二四・八〇二	九・二五九
			從價 三〇%		
	(蜜柑及桃柑)				
	從價 一五%				
	其ノ他				
	一五%				

670

597

三六四	角砂糖及棒砂糖	每百斤 一六・〇三	每百斤 一〇・〇〇
三六五	氷砂糖	每百斤 九・五九	每百斤 九・〇〇
三七六	清酒 甲樽入ノモノ 乙樽入ノモノ	二九・七六 二九・二立又ハ十 二升ニ付 九・二〇	一四・〇〇 二九・二立又ハ十 二升ニ付 三・一〇
三八三	テーブルウオクタ (起泡性飲料及礦水)	十二樽又ハ二十 四半樽入一箱ニ 付 〇・六九	従價 三〇%
三八四	別號ニ掲ゲザル酒類及飲料	従價 五〇%	三〇%

673

598

三六三	砂糖 (和蘭標本色相第十八號 以上ノモノ)	每百斤 三・九六	有量三%以 上ノモノ 每百斤 四・五〇
三六三	砂糖 (和蘭標本色相第十一號 以上第十八號未滿ノモノ)	每百斤 三・九六	(イ) 旋光度八十六 度ヲ超エザル モノ 每百斤 三・五〇
			(ロ) 八十六度ヲ 超エ九十四度ヲ 超テザルモノ 四・〇〇
			(ハ) 九十四度ヲ 超エタルモノ 四・五〇
			(ニ) 其ノ他 (粗糖ヲ含ム)

672

第八類	四〇五	四二五	四二七	四四二	四四四
	硫酸アンモニア(肥料)	別號ニ掲ゲザル化學肥料 及人造肥料	殺蟲劑及消毒劑	硫黃	〔其、他〕 別號ニ掲ゲザル製藥、藥 材、藥物及同調食品
	每百斤 〇・五〇	從價 七・五%	・一二・五%	每百斤 一・一七	從價 一〇%
	無	無	無	從價 一〇%	〔其、他〕 一五%

675

第七類	三五五	三六六
	紙卷煙草	葉卷煙草
	〔切〕千本ノ價格ニ・六三金單位ヲ 超エザルモノ	〔切〕千本ノ價格七〇金單位ヲ 超エザルモノ
	每千本 一・三〇	每千本 二四・〇〇
	〔切〕千本ノ價格ニ・六三金單位ヲ 超エザルモノ	〔切〕千本ノ價格ニ・六三金單位ヲ 超エザルモノ
	從價 五〇%	從價 五〇%

674

601

五三	五二	第十四類	第十二類 五六	五七
普通印刷紙及新聞用紙	板紙 丙ストロポード (平面ノモノ)	陶磁器 (化學用或ハ科學用ノモノヲ除ク)	磁器 表	磁器 鉢、碗、湯呑及取手付湯
每百疋	每百疋	從價	每枚	
一・九八	一・四八	二五%	四・四〇	
每百疋	從價	從價	每枚	
〇・七〇	一〇%	一〇%	一・二〇	
一・一〇			三・七〇	
一・六〇			〇・一六	

677

600

四五	第九類 四八〇	第十類 五〇
アニリン染料及其ノ他ノコールタール染料(別號ニ掲ゲザルモノ)	蠟燭	板紙 丙ストロポード (平面ノモノ)
從價	每百疋	每百疋
二五%	一三・〇六	一・四八
(中) 硝化ブラツク	從價	從價
二〇%	二五%	一〇%
〇・七〇	每百疋	
一・一〇	五・〇〇	
一・六〇		

676



603

六〇八	〔丁〕紙張又ハ綿布張ノモノ 傘及日傘 〔乙〕其ノ他柄、綿布張ノモノ 〔イ〕傘骨ノ長四十四種ヲ超 エザルモノ 〔ロ〕傘骨ノ長四十四種ヲ超 エタルモノ 〔丙〕其ノ他、柄、交織布張ノ モノ（絹ヲ用ヒザルモノ） 〔丁〕其ノ他、柄、絹布張又ハ 絹交織布張ノモノ	從價 一〇％	從價 二〇％
六〇七	〔イ〕紙張又ハ綿布張ノモノ （生活力ヲ有スルモノ） 動物	從價 一〇％	「種用動物」 暫行免稅

679

602

五八二	〔甲〕直徑十一種ヲ超エザルモノ ノ十一種ヲ超テ二十二種 ヲ超エザルモノ 〔丙〕二十二種ヲ超テ三十六 種ヲ超エザルモノ 〔丁〕其ノ他 窓硝子（普通ノモノ一平 方米ノ重量六・一〇疋ヲ 超エザルモノ）	從價 一〇％	從價 一〇％
第五類	水硬性セメント（ポルト ランドセメントノ如キ）	從價 一五％	從價 一〇％
五八七	扇子及團扇	從價 一〇％	從價 一〇％
第十六類	扇子及團扇	從價 一〇％	從價 一〇％

678

604

六 一 三	六 一 七	六 二 三	六 二 八	六 三 五	六 四 七 内
線眼品、薩摩燻及漆器	別號ニ掲ゲザル肥料	別號ニ掲ゲザルラムプ及ラ ムプ用器	木軸ノマツチ(安全製及其 他)	植物及花卉(生活力ヲ有 スルモノ)	セルロイド及同製品
從價 三〇%	・ 五%	・ 一五%	一箱五十哥入 一・二・〇〇	從價二・五%	・ 一・二・五%
本號「線眼品 及漆器」ニ改ム	無 税	從價 一〇%	一箱五十哥入 六・〇〇	「苗木」暫行免 税	輸入税表ニ特掲 シ税率ハ据置

J. 680

第三、支那海關ノ把據強化工作ノ企畫實現

681

REEL No. A-0284

0390

アジア歴史資料センター

一、支那海關に日本人職員充當ノ件

682

REEL No. A-0284

0399

アジア歴史資料センター

支那海關ニ日本人職員充當ノ件

昭和十四年二月二十二日
總務長官決裁

支那海關ノ把握強化ノ爲別紙(一)願様ヲ以テ日本人海關員ヲ増強セシムルコトト相成豫テ本院ノ斡旋ニ依リ適任者推薦方外務、大藏兩省ニ申入レ交渉中ナリシ處今般別紙(一)所掲ノ通夫々其ノ候補者ヲ推薦越候ニ付テハ何レモ適當ノ人選ト被認候條當院ヨリ之ヲ支那海關ニ推薦致可然哉
尙御決定ノ上、目下上京中ノ上海總稅務司署岸本稅務司ニ右ノ旨通達相成可然哉
仰御高裁

參考 支那海關指導強化ニ關スル件
昭一三、八一 連絡會議決定

605

683

別紙(一)

支那海關職員採用申込條項

(1) コンミッショナー、アデイショナル

員數 三(天津、芝罘及青島ニ各一)

外務省ヨリ内一名採用方ヲ希望ス

任期 三年

學歷 專門學校以上ノ卒業生

年齢 四十五才以上五十二、三才迄

俸給 (一月額)

A	一、〇九一元	八五七元	一、九四八元
B	一、〇九一元	六二三	一、七一四
C	一、〇一三	五四五	一、五五八
	本俸	在勤加俸	計

684

(5)

タイドサベーパー

俸給 (月額) 四二八元

(4)

アプレンティス

員數 四(上海二、芝罘一、秦皇島一)

(4) 八五七

(3) 九三五

(2) 一、二四七

(1) 一、〇九一

(5) 七七九

(6) 七〇一

(7) 六二三

(8) 五四五

(9) 四六七

(10) 三八九

(11) 三一三

(12) 二七三

俸給 (月額) 二七三元

備考 俸給、階級ニ依リ次ノ如ク分レタリ

學歷 専門學校以上ノ卒業生(ナルベク最近ニ於ケル)

英語堪能ナルモノ

司五)

(5)

アシスタント

員數 一八(天津二、芝罘三、秦皇島一、上海七、總稅務

俸給 (月額) 本俸八五七、在勤加俸二三四計一、〇九一元

年齢 四十五才以上五十二、三才迄

學歷 専門學校以上ノ卒業生

任期 三年

統計專任者 一

技術官 二

普通事務 一

外務省ヨリ 一

員數 五(天津一、北京、上海一及總稅務司二)

(2) デュピテ、コンミッショナー

D 一〇一三 三九〇 一四〇三

- (6) 員 數 一（上海）
俸 給 （月額）四二八元
アシスタント、タイドサベイヤ
- 員 數 一（上海）
俸 給 （月額）三八九元
エキザミナー
- (7) 員 數 九（天津八、芝罘一）
俸 給 不詳（月額一五〇以下ナルベシ）
- (8) ポート、オフィサー
員 數 六（上海四、天津一、秦皇島一）
俸 給 不詳

昭和十四年二月十七日

興亞院經濟部長
日 高 信六郎

上海總稅務司署稅務司 岸 本 廣 吉 殿

支那海關日本人職員推薦方ニ關スル件
 今回御申出相成候支那海關ニ御採用ノ日本人職員ノ候補者トシテ別紙
 ノ通り推薦致候條右御了知相成度候

氏名	官職	年齢	學歷	推薦省	備考
有住甲子郎	大藏技手	二七	東京帝大	大藏省	年齢、満年令
宮本 殿雄	事務官補	三〇	小樽高商	同	同
青柳 正一	監 吏	二七	横濱商高	同	同
飯田 怡止男	同	二八	東京外語	同	同
吉村 森之助	事務官補	三〇	高山高等部	同	同
近藤 謹一	同	三〇	高松高商	同	同
谷崎 廣	監 吏	二三	長崎高商	同	同
丸繁 誠	事務官補	三〇	早稲田大學	同	同
河崎 正二	同	二五	大阪高商	外務省	同
安井 正夫	同	二三	神戸バルモア英學院	同	同
貴布根 庸副	同	二六	上智大學	同	同

(B) アシスタント(十八名)

氏名	官職	年齢	學歷	推薦省	備考
佐島 忠夫	外務省囑託	四七	神戸商大	外務省	高等試験合格前領事
飯田 謙	査 査 官	四四	東京帝大	大藏省	
原田 信行	査 査 官	五二	京都高等工藝	同	
公岡 憲二	税 官	五〇	第一高校	同	
田中 伸四郎	税 官	四八	農業來農	同	

(B) デビュテター・コミッショナリー(五名)

氏名	官職	年齢	學歷	推薦省	備考
黒澤 二郎	公使館一等書記官	五〇	東京帝大	外務省	高等試験合格
藤崎 銳樹	税 官	五八	東京外語 (専修科)	大藏省	
濱田 哲九郎	税關事務官	四七		大藏省	高等試験合格

(1) コミッショナリー・アディショナル(三名)

支那海關採用候補者名簿

工藤 祐博	氏名	官職	年齢	學歷	推薦省	備考
		港吏兼監視	四一	關大専門	大藏省	

(6) アシスタント・タイドサーベヤー(一名)

中村 伸一	氏名	官職	年齢	學歷	推薦省	備考
		鑑査官補	三九	神戸佛語	大藏省	

(5) タイドサーベヤー(一名)

石塚 享	氏名	官職	年齢	學歷	推薦省	備考
		鑑査官補	三七	横濱高工	同	
黒田 貞一		大蔵技手	四〇	大阪高工	同	
松本 嘉平治		鑑査官補	五二	東京工科學校	同	
藤田 保忠		事務官補	四六	萩中學	大藏省	

(4) アプレンティス(四名)

村谷 幸人	氏名	官職	年齢	學歷	推薦省	備考
			二八	九州帝大	同	
片柳 豊造			二六	青山學院	同	
松本 和夫			二三	名古屋高商	同	
星野 福次郎			二五	慶應大學	同	
山田 直志			二六	京都帝大	同	
田村 勇			二九	神戸高商	同	
黒澤 俊雄			二九	東京外語	同	年齢、満年齢

616

合計 四十七名

氏名	官職	年齢	學歷	推薦省	備考
紀和夫	事務官補	三〇	下野中學	大藏省	
濱田迪雄	・	三一	横濱専修商業	・	
小泉勝治	・	三六	京都第一商業	・	
小林健次郎	監吏	二九	専修大學(豫科)	・	
矢福政光	事務官補	三二	拓殖大學	・	
梶原喜久雄	監吏	三〇	門司商業	・	

(8) ポート、オフィサー(六名)

以上

694

615

(7) エキザミナー(九名)

氏名	官職	年齢	學歷	推薦者	備考
鈴木孝	鑑査官補	三三	太田中學	大藏省	
栗原淺五郎	・	二九	横濱専門	・	
遊藤修介	・	二七	横濱専門	・	
柴田徳司	輸出品検査官補	二九	神奈川商工	・	
高岡貞次郎	鑑査官補	三三	都島工業	・	
鹿谷虎吉	監視	三二	五島中學	・	
村田明	・	三三	三池中學	・	
野口薫	鑑査官補	三一	門司商業	・	
小名良郎	・	三六	函館中學	・	

693

一方 針

北支並中南支ニ於ケル支那側海關業務ノ合理的發展ヲ圖ルト共ニ之カ
實質的把握ニ資スル爲統一セル方針ノ下ニ新政權ト協力シ善當リ緊要
位置ニ對スル日本人官吏ノ充當ヲ圖リ爾後機會アル毎ニ海關職員ノ各
層ニ亘リ適應セル日本人官吏ヲ増加シ以テ海關業務ノ實質的強化ヲ策
ス

右ニ關聯シ第三國側ノ支配權ヲ漸次消滅ニ導ク如ク指導ス

ニ要 領

一、既接收海關ニ對シテハ支那側政權ヲ指導シ業績ノ進展ヲ圖ルト共ニ
第三國ニ對シテハ新政權ニ其ノ實質的支配權ヲ讓渡スル如ク處置ス
新政權カ海關ノ實質的支配權ヲ享有スルニ伴ヒ漸次緊要位置ニ對ス
ル日本人官吏ノ増加ヲ圖リツツ新政權ヲシテ將來之ヲ確認セシムル

ノ素地ヲ作ル

ニ未接收海關ニ關シテハ其ノ接收ニ當リ豫メ日本人官吏増加ノ方途ヲ
購スルノ外前項ノ要領ニ從ヒ處理ス

外國人税關吏ニ對シテハ其ノ配置ノ變更官制ノ改正等ニ依リ其ノ勢
力失墜ノ方法ヲ購ス

三、日本人増加人員ハ有能經驗アルモノヲ以テ之レニ充ツ増加人員ノ盈
衡推薦ニ關シテハ内地トモ緊密ナル連絡ヲ保持ス但シ下級職員ニ關
シテハ現地採用ノ方法等モ併セ考慮ス

増加豫定人員別表左ノ如シ

四、前諸號ニ關スル工作方針ニ付テハ速ニ別ニ立案ス

備考

海關關係官吏ノ任命ハ總稅務司ノ進行スル處ナルヲ以テ外交交渉
ニ依リ海關ニ關シテハ其ノ合理的發展ヲ理由トシ總稅務司署ニ關
シテハ外債擔保確保ヲ理由トシ日本人官吏ノ増員ヲ促進セシム

小計	支 北						別面方
	青島	威海衛	芝罘	龍口	天津	秦皇島	海關別
二	一	一	一	一	一	一	稅務司 又副司
八	三	一	一	一	四	一	事務官
三	一	一	一	一	二	一	監察長 又副長
八	三	一	一	一	二	一	監察員 又副員
七	四	一	一	一	一	一	鑑定官
二七	一四	一	二	一	八	三	検査官
二三	一五	二	一	二	一	四	稽査官
三	一	一	一	一	一	一	海關長 又副長
二	一	一	一	一	一	一	海關員
八三	三九	三	五	三	二〇	一三	計

海關職員增加希望人員一覽表

計	秘書科	審權科	稽核科	典職科	譯私科	機密秘書科	漢文科	財務科	統計科	總務科	科名官名
一				一							稅務司
四		一			一			一	一		副稅務司
三			一	一							事務官
八	一	一	一	一				一	一	一	計

總稅務司署希望人員一覽表

三、青島港務部ハ税關ヨリ獨立シタルヲ以テ港務長等ハ本表ヨリ除外ス
 四、北支海關ニ關スル要求人員ハ北支ノ意向ヲ本則トシテ掲配ス

由 一、本表及以下各表ニハ總テ事務員ヨリヨリノ人員ヲ含マサルモノトス
 二、◎印ハ△印ニ於テ兼務スルニ付合計ニハ含マス

支南中北	支 南 中									
	總計	小計	厦門	寧波	杭州	蘇州	上海	鎮江	南京	蕪湖
一五	一三	二	一	一	一	五	一	一	一	一
二四	一六	二	一	一	一	一〇	一			二
一五	一二	二	一	一	一	六	一	△		一
二三	一五	一	一	一	一	一五	一	一		
一六	九	一	一	一	一	八	一	一		
五六	二九	三	一	一	一	二〇	一	一	一	一
七五	五二	八	四	一	一	三〇	三	三	三	四
五	二	一	一	一	一	一	一	◎	一	
四	二	一	一	一	一	二	一	一		
二三三	一五〇	一九	八	二	二	九七	七	六	九	九

ニ支那海關ニ日本人海關員充實方ノ件

701

REEL No. A-0284

0409

アジア歴史資料センター

支那海關ニ日本人海關員充實方ノ件

昭和十四年十二月二十二日
總務局長官決裁

第一方 針

將來揚子江開放ノ時期ニ於テ所在海關ノ事務ヲ開始スルニ當リ所要ノ日本人海關員ヲ之ニ配置シ其ノ實質的支配權ヲ我方ニ把握スル爲ニ當リ左ノ要領ニ依リ日本人海關員ノ新規採用ヲ爲シ置クモノトス

第二 要 領

開港スヘキ海關ニ配置スヘキ日本人海關員ハ左ノ方法ニ依リ總稅務司ヲシテ新規採用セシムルモノトス

- (一) 上海海關ニ於テ各階級ニ亘リテ最少限度何人ノ日本人海關員ヲ要スルヤヲ調査ノ上海關長ニ懇談シ同人ヨリ之カ任命方ヲ切實ニ總稅務司ニ請求セシム
- (二) 先般上海海關及總稅務司署ニ配置スル豫定ヲ以テ採用セシメタル北支在勤ノ日本人海關員ヲ大體原案通り上海海關及總稅務司署ニ轉任セシムル様總稅務司ニ交渉ス

(三) 北支ノ各海關長ハ前記日本人海關員ノ轉出ニ由ル減員ニ反對スルト共ニ更ニ右ノ外各階級ニ亘リテ最少限度所要日本人海關員ヲ任命スル様總稅務司ニ對シ切實ニ要求スルモノトス

前記各號ニ依リ要求スヘキ増員數ハ概ネ別記日本人海關員新規採用豫定員數ニ合致セシメ之ヲ海關別ニ適當按配シ要求セシムルモノトス

備 考

- 一、本件實施ニ當リ現地日本官憲ハ相互ニ連絡ノ上海關指導ニ努ムルト共ニ現地ニ於ケル對總稅務司交渉ト併行シ中央ニ於テハ右要員ノ入選等ニ付必要ナル手配ヲ進ムルモノトス
- 二、總稅務司ニ對スル本件要求等ノ代價トシテ總稅務司署ノ經費ノ占領地内海關分擔方承認スルモノトス

港 稽 檢 査 監 察 員 又 ハ 副 監 察 員	副 監 事 監 察 長	副 稅 務 司 官	稅 務 司 官	職 別	考 (昨 來 配 置 豫 定 海 關)
計 務 查 査 定 員	監 察 長	稅 務 司 官	稅 務 司 官		
湖	南	京	鎮		
江					

港 稽 檢 査 監 察 員 又 ハ 副 監 察 員	副 監 事 監 察 長	副 稅 務 司 官	稅 務 司 官	職 別	要 員
計 務 查 査 定 員	監 察 長	稅 務 司 官	稅 務 司 官		
湖	南	京	鎮		
江					

日本人海關員新規採用豫定數

二 〇 八 三 九 三 三 三 二 一 四 〇 〇

(1) 資格

試用審査員採用ニ關スル注意事項

- (一) 候補者ハ中等學校以上ノ學校ヲ卒業シタル者ニテ英語ニテ讀ミ書キ會話ノ出來ル者ナル事
 - (二) 差當リ兵役ニ召集サルル事ナキ者、召集サルル時ハ現職ヲ辭職スル事ヲ要ス
 - (三) 監視等ノ激務ニ携ル爲メ特ニ身體強健ナル事ヲ要ス今迄ノ經驗ニヨレハ風土ノ激變ト激務ノタメ數ヶ月ニテ發病シ長期ノ病氣休養或ハ辭職セルモノ少ナカラス
 - (四) 成ルヘク獨身者ナル事
 - (五) 年齢三十歳未滿ナル事
- (2) 待遇
- (一) 俸給及手當
初任給ハ銀一五五元ニシテ目下爲替相場ノ變動ニヨリ相當額ノ爲

備考

一、右表中稅務司一名及副稅務司二名ハ關關直前ニ於テ現在ノ日本人海關員中ヨリ昇格轉補セシムルモノトス

二、關關後右表要員ヲ豫定海關ニ異動セシメタルトキハ更ニ之ニ田ル缺員ノ補充ヲ認メシムルモノトス

本回採用ノ稽查員ハ三ヶ年ノ雇傭契約ニヨルモノニシテ契約期間満了後更ニ三ヶ年ノ契約ヲ締結スル事ヲ得ルモ海關當局或ハ本人ノ都合ニヨリ契約ヲ解除スル事ヲ得、恩給、長期休暇等ノ待遇ヲ與ヘス

(B) 採用手續

(一) 海關所定ノ書式ニヨル履歷書ニ寫眞ヲ添ヘテ上海總領事館ニ移牒スル事

(二) 身軀検査ハ海關ニテ行ハス大藏省指定ノ醫師或ハ公立病院ニテ行ヒ海關所定ノ検査票ニ記入シ前記履歷書ト共ニ上海總領事館ヘ送ル事

以上

替捐手當ヲ支給ス

半ヶ年ノ見習期間終了後成績良好ナル者ハ同等稽查員ニ任セラレ成績不良ナル者ハ見習期間ヲ更ニ延長サレ或ハ解雇サル

(一) 官舎及ヒ官舎料

官舎又ハ官舎料ヲ支給ス但シ一等稽查員ニ昇級スル迄ハ妻帯者ノ待遇ヲ與ヘス

(二) 轉任旅費

轉任ノ場合、一等稽查員ニナル迄ハ獨身者トシテ之ヲ待遇シ本人ノミノ旅費ヲ支給ス一等稽查員以上ニハ妻子アル場合ニハ本人、妻、子供三人迄ノ旅費ヲ支給ス

(三) 日本内地ニテ採用セルモノニ對シ支度料金百五拾圓東京ヨリノ旅費金八拾圓ヲ支給ス

(四) 其他、病氣ノ場合ニハ海關醫 無料診断ヲ受クルコトヲ得、警察員ノ上級職員ニ達スル迄ハ制服ヲ官給ス

第四、關稅ノ華興券建其ノ他關稅收入ノ保全確保

710

REEL No. A-0284

0414

アジア歴史資料センター

一、廈門ニ於ケル關稅收入受入通貨ニ關スル件

3. 711

REEL No. A-0284

0415

アジア歴史資料センター

廈門ニ於ケル海關稅受入通貨ニ關スル件

昭和十四年三月十七日
興亞院會議決 叙

經濟部 長

廈門連絡部長官宛

651

貨地海關ニ於テハ關稅受入通貨トシテ法幣ノ外金圓券ヲモ認メ居レル
處右ハ上海輸入貨物ヲ廈門ニ於テ假陸揚シ市場ニ於テ入手セル安價ナ
ル金圓券ヲ以テ關稅納入ヲ了スルコト等ニ依リ當方占據下ニ在ル海關
ノ收入ヲ實質的ニ減少セシムル結果ヲ招來シ居ルニ鑑ミ之ヲ改メ法幣
一本進トスルヲ可トスル候認メラルルモ右ニ關スル費見折返シ返電相
成度

712

廈門ニ於ケル海關稅受入通貨ニ關スル件

經濟部 第四課

一、關稅納付ニ付廈門海關ニ於ケル圓紙幣ノ受入

我方ハ昭和十三年八月二十五日附海軍陸戰隊司令官名義ノ命令ヲ以
テ廈門海關ヲ帝國海軍ノ監理下ニ置クト共ニ九月一日ヨリソノ再開
ヲ認メタルカ八月三十一日附命令ニ依リ關稅ハ圓紙幣ヲ以テモ之カ
納入ヲ許容スルコトトナセリ而シテ公定金單位相場ト圓紙幣ノ換算
率ニ付テハ當初(イ)先ツ金單位ヲ法幣ニ(ロ)次テ右法幣額ヲ上海ニ於ケ
ル法幣ノ日本向爲替相場ニ約一圓ヲ加ヘタル相場ニ依リ換算スルノ
方法ヲ採レリ其ノ主タル理由ト認メラルル所左ノ如シ

- (1) 本邦商人ノ納稅上ノ便宜
- (2) 圓系通貨ノ一志二片基準ニ於ケル流通ノ助成

652

713

運スルニ必要ナル金圓ヲ要求スヘク而シテ右金圓モ結局市場ニテ
 法幣ニ換價セラルヘシ

(2) 稅收ノ經費ニ對スル不足
 奧地下ノ間ノ交易遮斷、昭和十三年六月一日、稅率引下等ニ依ル
 影響ニ加ヘ市中相場ヲ上廻ル換算率ニ依ル金圓券ノ受入ニ依リ稅
 收ハ愈々減少シ海關經費ヲ賙フニ足ラス

(3) 他港特ニ上海トノ間ニ於ケル納稅上ノ不備
 廈門ニ於テ安價ナル金圓ニ依ル納稅納付ハ實質上他港ニ比シ其ノ
 負擔輕シ從ツテ他港向貨物モ一旦廈門ヲ通シ同地ニ於テ納稅納付
 手續ヲ了スルノ現狀ヲ促スヘシ右ハ非占據地域内海關向貨物ニ付
 テハ可ナルモ占據地域内海關向貨物ニ付テハ假此權衡ヲ失シ妥當
 ナリト辨シ難シ現ニ最近外商中ニハ之ヲ利用シ上海向貨物ノ廈門
 ニ於ケル關稅納付ニ依リ不當ノ利益ヲ博シ居ルモノヲ生シタリ其
 ノ著シキモノハ太古洋行、瓜哇糖輸入ナリ之ニ對シ廈門當局ハ金

(3) 實際上ノ減收ニ因ル他港向貨物ノ吸收從テ廈門稅收ノ増加
 向海關稅預入銀行ハ香港銀行ヨリ臺灣銀行ニ改メラレタリ

三石ニ關聯シ發生シタル問題
 然ルニ支那人間ニハ金圓ハ流通セス他面軍關係支出等ニ依リ市場ニ
 於ケル金圓券ノ量ハ増加シ其ノ法幣トノ間ノ相場ハ百圓カ白十元乃
 至百二十三元位ノ間ヲ上下スル如キ事情ニ在リ十月中旬ニハ約百十
 五元位ニシテ左ノ如キ問題ヲ發生セリ

(1) 受入金圓ヲ法幣ニ換價スルノ必要
 盛銀ニ對スル海關ノ金圓預金ニ對シ海關側トシテハ受入率ト略同
 様ノ相場ニテ金圓ニ對シ法幣ヲ供給センコトヲ希望シ居ルモ右ハ
 我方ノ外貨ヲ夫丈消耗セシムルコトナリ不可ナルヲ以テ之ニ對
 シテハ右金圓ヲ直接經費ニ充テシムルカ又ハ盛銀ニ於テ市中相場
 ニテ市中ヨリ法幣ヲ調達スルカヲ選ハサルヲ得ス前者ニ依ルトキ
 ハ海關側トシテハ受入率ト略同様ノ相場ニテ金圓ニ對シタル法幣ヲ調

(3) 實質的減税ノ利益ニハ外人モ均活ス
 (二) 右(イ)ニ依リ明カナルカ如ク之ニ依ル金圓流通助成策ハ不徹底ト謂フヘク又金圓ノ一志二片基準維持モ到底不可能ナリト稱スヘシ

三、結 論
 厦門ニ於ケル關稅納付用通貨トシテハ金圓券ヲ認メス法幣一本立トスルヲ可ト認ム其ノ理由左ノ如シ
 (イ) 稅收ヲ減少セシム
 (ロ) 徵稅上他港特ニ上海トノ間ニ於ケル權衡ヲ失シ他港向貨物ノ一時鹽上ニ依ル合法的脫稅行為ヲ促ス
 (ハ) 受入通貨トシテ盤銀券ヲ認ムルコトハ
 (1) 本邦商人ヲシテ金圓賣法幣買ノ要ナカラシムトスルモ一度海關ニ於テ受入タル盤銀券モ之ヲ市場ニテ法幣ニ換フルコトノ必要ナル限リ總量ニ於テ金圓賣外貨買ヲ減少セシムルコトナシ
 (2) 金圓ヲ有セサル外人ヲシテ關稅納付ノ爲法幣賣金圓買ヲ行ハシムルモ其ノ效果ハ受入後ノ金圓賣法幣買ニ依リ相殺セラル

ニ法幣低落ニ伴フ江海關關稅收入ノ保全方ニ關スル件及同措置要領

0718

REEL No. A-0284

0419

アジア歴史資料センター

昭和十四年八月二十一日興亞院會議決定

法幣低落ニ伴フ江海關稅收入ノ保全方ニ關スル件

法幣ノ低落ニ因ル江海關稅收入ノ減少ヲ防止シ併セテ華興券ノ浸潤ニ資スル爲不取敢ノ措置トシテ江海關稅納入通貨ハ之ヲ華興券建トシ華興券ヲ以テ納入セシムルモノトス。但當分ノ間公定ノ換算率ニ依リ法幣ノ納入ヲモ容認スルモノトス。

719

057

参考

法幣低落ニ伴フ江海關稅收入ノ保全方ニ關スル件措置要領

- 一、維新政府ノ江海關監督ニ對スル命令及江海關監督ノ江海關稅關長ニ對スル命令ヲ以テ法幣及中央銀行發行ノ關金兌換券或關金小切手ノ受入ヲ停止シ華興券建ニ依リ華興券ヲ以テ納入セシムルモノトス。但當分ノ間法幣ノ納入ヲモ容認スルモノトス
- 二、金單位ノ華興券換算ニ當リテハ差當リ從來法幣ニ付認メタル一志ニ片半ノ名目率ヲ其ノ儘華興券ニ付變用スルモノトス
- 三、輸移出入品ノ徵稅ノ基礎トナルヘキ市場卸賣價格ニ付テハ外貨建及法幣建ヲ認メシテ華興券建トナサシムルモノトス
- 四、金單位ノ華興券換算率及過渡的ニ認メタル法幣受入ニ關聯スル華興券ノ法幣換算率ハ江海關監督ノ公定發表スルモノニ依ラシムルモノトス

720

058

五 中央銀行カ本件措置ニ協力スル限り差當リ其ノ關稅徵收銀行タル機能ハ之ヲ其儘容認スルモノトス。但狀況ニ依リ要スレハ努メテ穩便裡ニ其ノ機能ヲ廢止シ又ハ維新政府ニ於テ之ヲ接收スル如ク考慮スルモノトス

六 右ニ關聯シ華興商業銀行ノ同行券發行ハ差當リ左記各號ノ方針ニ依ルモノトス

(イ) 英米貨ニ對シテハ對英相場六片ヲ基準トシ適當ナル換算率ニ依リ華興券ヲ供給ス

(ロ) 法幣ニ對シテハ其ノ外貨兌換性ヲ有シ且出合ノソク範圍内ニ於テ適當ナル率ニ依リ華興券ヲ供給ス

(ハ) 其ノ他ノ通貨ニ對シテハ華興券ヲ供給セス

セ 上記ニ關シ維新政府ハ適當ナル財政部佈告ヲ發スルモノトス

三 廣東海關再開ニ伴フ關稅納入方ノ件

722

REEL No. A-0284

0422

アジア歴史資料センター

廣東海關再開ニ伴フ關稅納入方ノ件

昭一五四一三
總務官決裁

廣東海關再開ニ伴フ關稅納入方ニ付テハ廈門ノ例ニ倣ヒ左記ニ依リ處理スルコトト致度ニ付左察ノ一ヲ以テ關係各省ノ同意ヲ得タル後案ノ二ヲ以テ廣東派遺員事務所長沼事記官案通牒スルコトト致度

記

一、受入通貨ハ法幣トスルコト

二、海關金單位ニ對スル法幣ノ換算率ハ上海海關ニ於ケル金單位ノ對

華與券換算率及華與券ノ對法幣換算率ヨリ裁定スルコト

進而右通牒ト同意旨ヲ以テ陸、海、外三省ヨリ夫々現地出先當局

ニ通牒方依頼スルコトト致度

仰
高
裁

昭和十五年四月十五日

政 務 部 長 名

廣東派遺員事務所

長 沼 書 記 官 宛

廣東海關再開ニ伴フ關稅納入方ニ付テハ廈門ノ例ニ倣ヒ左記ニ依リ處理スルコトト致度

記

一、受入通貨ハ法幣トスルコト

二、海關金單位ニ對スル法幣ノ換算率ハ上海海關ニ於ケル金單位ノ

對華與券換算率及華與券ノ對法幣換算率ヨリ裁定スルコト
尙本件ニ付テハ關係各省ト打合セ濟爲念

昭和十五年四月五日

上海次長

政務部長宛

上海發電第八四六號

近日再開セラルベキ廣東稅關ニ於テハ客年九月以降廈門稅關ニテ實施セラレオル前例ニ倣ヒ關稅六片ヲ徵收ヲ開始スルコト稅收確保ノ見地及中支南支ニ於ケル稅率統一ノ見地ヨリ望マシキニ付關係機關トモ連絡ノ上右實現方配慮相成度宛長沼書記官、通報先本府政務部長

642

725

昭和十四年八月二十一日

廈門連絡部長官

政務部長宛

廈門發電第一三九號

照會ノ件ニ關シ當廈門海關ハ從來特種ノ制度ヲ採用シオル關係上上海案ニ依ルコトハ影響大ナルモノアリト思料シ目下詳細ニ互リ研究中ナルモ上海ノ改革ニ協力スル趣旨ニ於テ不取敢左ノ要領ニ依リ措置スルコトト致度
一、受入通貨ハ法幣ノミトス
二、海關金單位ニ對シ法幣ノ換算率ハ上海ニ於ケル換算率ヲ適用ス
三、關稅徵收銀行ハ差當リ現行通り中央銀行トス

643

726

昭一五釋發第4三三號

昭和十四年四月十五日

興亞院總務長官

海軍次官
陸軍次官
外務次官
大藏次官

廣東海關再開ニ伴フ關稅納入方ノ件

廣東海關再開ニ伴フ關稅納入方ニ付テハ廈門ノ例ニ倣ヒ左記ニ依リ處理スルコトト致度右ニ關スル意見至急御回示相煩度及照會候也

記

一、受入通貨ハ法幣トスルコト

二、海關金單位ニ對スル法幣ノ換算率ハ上海海關ニ於ケル金單位ノ對華與券換算率及華與券ノ對法幣換算率ヨリ裁定スルコト

644

軍務發第九四四號

廣東海關再開ニ伴フ關稅納入方ノ件

昭和十五年四月十七日

陸軍省軍務局長 武 藤 章

興亞院經濟部長 毛 里 英 於 菟 殿

四月十五日附昭一五釋發第四三三號ヲ以テ御照會ノ首題ノ件當方異存無之候

04.5

728

727

647

廣東海關再開ニ伴フ關稅納入方ノ件
昭一五經發第四三三號ヲ以テ御照會ニ係ル首題ノ件當省異存無之
右及回答欄也

興亞院總務長官 柳 川 平 助 殿

大藏次官 大 野 龍 太

昭和十五年四月二十三日

730

646

廣東海關再開ニ伴フ關稅納入方ノ件
本件ニ關シ四月十五日附寄信昭一五經發第四三三號ヲ以テ御照會
ノ趣了承當方トシテハ本件尙見通處理方ニ異議無之此段回答申進
ス

興亞院總務長官 柳 川 平 助 殿

外務次官 谷 正 之

亞一機密第七五號
昭和十五年四月十七日

729

648

昭和十五年四月二十六日

興亞院 經濟部 長 殿

海軍省 軍務局長

廣東海關再開ニ件ノ關稅納入方ノ件
昭一五經發第四三三號御照會首題ノ件當方特ニ意見無之候

(終)

731

REEL No. A-0284

0420

アジア歴史資料センター

第五、新中央政府樹立ニ對處スベキ財政政策決定關係

732

REEL No. A-0284

0420

アジア歴史資料センター

一、新中央政府樹立ニ對處スベキ財政政策

733

REEL No. A-0284

0429

アジア歴史資料センター

第一 方針

新中央政府樹立ニ於ケル新支那財政ノ整備運営ハ本則トシテ支那側ヲシテ之ニ當ラシムルコトトスルモ日支新關係調整方針ニ基ク分治合作ノ政治方針竝ニ經濟提携原則ニ準據シ所要ノ規制ヲ加フルト共ニ特ニ其ノ強度結合地帶政權ニ對スル財政指導權ノ把握強化ヲ期スルモノトス

第二 要領

一、中央政府財政權ノ整備

(一) 全支財政ノ運用統合上隸下政權ニ對シ重要財政施策ニ付中央政府ノ區處ヲ受ケシム(内面指導)但シ蒙古聯盟自治政府ニ對シテハ高度ノ自治ヲ認ム(秘密協定)

(二) 中央政府ハ維新政府ノ財政ヲ統合スル外專ラ中央政費ノ財源トシテ關稅收入ヲ使用ス(秘密協定)

(三) 關稅徵收銀行ハ逐次之ヲ支那側銀行ニ移管スルモ預託銀行ハ日本側銀行トス(既成事實承認又ハ公約)尙從前ノ關稅收入預金ノ歸屬等ニ付テハ別途處理ス(内面指導)

二、財政上ノ地方分權ノ確立

(一) 蒙疆
蒙疆ニ於ケル財政ハ概ネ現制ニ據ルコトトシ(既成事實承認及秘密協定)尙場合ニ依リ關稅剩餘金中一部繰入金ニ付キ考慮ス(内面指導)

(二) 北支

北支政府委員會(假稱)ヲシテ地方財政ノ主體タラシメ概ネ現臨時政府ノ財政權ヲ繼承セシム尙關稅(關稅ヲ除ク)ニ付テハ賦課徵收ヲ爲シ其收入ヲ歸屬セシム(既成事實承認及秘密協定)

六 舊款、整理協力

其、國際性ヲ是正ス（既成事實承認及協力）
 (二) 關稅率其、他現行海關諸制度ハ暫定的ニ一部改正ヲ見タルニ過ギズ經濟提携原則、要請ニ即應スル如ク我方ト協力シ速カニ之ガ根本的改正ヲ行ハシム（内面指導）

五 關稅行政權、指導強化

(一) 財政上乃至交易上支那海關ノ占ムル重要性ニ鑑ミ管下各海關ノ接収強化ニ努ムルト共ニ速カニ優秀ナル日本人海關員ヲ増強シ逐次其、國際性ヲ是正ス（既成事實承認及協力）
 (二) 關稅率其、他現行海關諸制度ハ暫定的ニ一部改正ヲ見タルニ過ギズ經濟提携原則、要請ニ即應スル如ク我方ト協力シ速カニ之ガ根本的改正ヲ行ハシム（内面指導）

四 財政上、通貨、選定

財政上、通貨、選定ハ一般通貨對策ノ進展ト相呼應セシムルコトトシ差當リ左記ニ據ラシム（内面指導）

(一) 中央政府差當リ其、收納スル通貨（法幣ヲモ含ム）

(二) 北支政務委員會（假稱）中聯券

(三) 蒙古聯合自治政府 蒙疆券

(二) 上海、青島及厦門

各特別市ノ財源ヲ確保スル爲當分ノ間統稅及鹽稅ニ付其ノ市ニ於ケル徵收額中一定割合ヲ取得セシム（秘密協定）

三 日本人財政顧問ノ配置

(一) 中央政府ニハ金融政策指導ヲ兼ネ財政顧問ヲ置キ通貨金融政策ト一體化シツツ其ノ願正ナル發達ヲ期セシム（秘密協定）

(二) 強度結合地帶政權ニハ財政顧問ヲ置ク又ハ例ヘバ稅制ノ整備確立等財政機能ヲ強化育成スル爲所要各機關ニ財務指導官ヲ配置ス（秘密協定）

但シ適宜駐兵地地方政權ニ之カ負擔ヲ命ズルコトアルベシ（秘密協定）

(二) 治安駐兵費ノ協力ハ必ズシモ分擔金受入ノ形式ニ據ラズ軍用地ノ提供、軍票價值維持資金ノ提供等ノ方法ヲ併用ス（秘密協定）

八、阿片制度ノ確立

阿片事業ノ指導ハ昭和十三年七月二十九日決定「支那側阿片麻藥政策指導要綱」ニ據ラシメ、當該事業ノ運営ハ地方財源トシテ地方政權ノ管掌ニ屬セシム但シ制度ノ整備又ハ事業ノ運営上中央ニ於テ所要ノ統制ヲ爲スモノトス（内面指導及協力）

專使前ノ借款ニ付テハ我方之ニ協力シ其ノ整理計畫ヲ樹立セシム尙之カ財源ニ付テハ所要ニ應ジシ下各政權ニ對シ上納金ヲ納付セシムルコトアルベシ（内面指導及協力）

(一) 外債

(イ) 外債ノ元利拂ハ差向之ヲ停止ス但シ利拂ニ付テハ新政權承認等ヲ條件トシツツ財政ノ餘力ニ應ジ可及的速カニ償還ノ途ヲ講ズ

(ロ) 國匪賠償金ノ償還ニ付テハ右ニ準ズ

(ハ) 不確實債務ノ整理ニ付テハ我方出來得ル限り之ニ協力ス

(二) 内債

主トシテ舊借繼承ノ建前ヲ採ルモ、之カ實行ハ支那財閥資本ノ吸引工作ト對處シツツ當分ノ間主トシテ長期債借換ノ方法ニ依リ整理ス

七、治安駐兵費ノ協力

(一) 日支協定ノ上中央政府ヲシテ毎年治安駐兵費ノ一定額ヲ分擔セシム

税目	關稅		統稅		鹽稅		其、他		合計
	北支	中支	北支	中支	北支	中支	北支	中支	
年度	二七	二八	二七	二八	二七	二八	二七	二八	二八
北支	七三八七一	八五二九三	三〇八二三	三二、五九三	一一、六八二	三、一六五	二八六六六	一、六〇〇〇	二一〇、四一六
中支	一六八、六二三	四〇〇七	六五〇〇〇	不詳	一、七〇〇〇	不詳	一、六五二〇	一、七七八八	三三、一七八八
蒙疆	一	一	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	二一、八八二
合計	一五九、一六四	二九五、〇三九	六三、四一三	一、二三、〇〇七	一一、六八二	二、五二〇	二八六六六	二、四五二〇	四六、四〇八
備考	合計欄ニハ蒙疆分ヲ加ヘ		合計欄ニハ蒙疆分ヲ加ヘ		合計欄ニハ蒙疆分ヲ加ヘ		合計欄ニハ蒙疆分ヲ加ヘ		合計欄ニハ蒙疆分ヲ加フ

占領地内既成政權收入額調
單位千元

北支 中支
蒙疆 蒙疆
法幣 法幣

歲入	歲入		歲出		歲入
	關稅收入	統稅收入	鹽稅收入	其他	
民國二十四年度	三四、三六一	一一、三二九	一八、四二一	三、一八二	九、五七一
民國二十五年度	三一、七九七	一三、七九六	一八、九一八	三、五〇七	九、九〇六
民國二十六年度	三六、九二六	一七、五六一	二二、八六二	二、七一一	一〇、〇六四
合計	一〇、〇六四	三、九二五	三、二四六	二、八四五	一〇、〇六四

最近三ヶ年ニ於ケル國民政府豫算 (單位千元)

年別	收入別	關稅收入	統稅收入	鹽稅收入	計
一九二九年		二〇三、三〇八	四〇、四九一	六一、〇七一	三〇四、七〇〇
一九三〇年		二四八、一五二	五三、三三一	一〇四、五八一	四〇六、〇六四
一九三一年		三四四、一九九	八八、六八二	一三四、二二八	五六七、一〇九
一九三二年		二九二、五〇八	七九、五九七	一四二、一八五	五一四、二九〇
一九三三年		三三九、五一五	一〇四、五七八	一五九、二四七	六〇三、七四〇
一九三四年		三三四、六四五	一〇四、五六六	一七五、九五〇	六一五、一六一
一九三五年		三一五、五二〇	一三〇、四〇六	一八四、二〇九	六三〇、一三五
一九三六年		三二四、六三三	一三二、七九六	二〇五、四三三	六六二、八六二
一九三七年		三四二、八九九	一七五、六一七	二二八、六二六	七四七、一四二
一九三八年		一五九、一六四	六三、四一三	一一、六八二	二三四、二五九
一九三九年		二九五、〇三九	一二三、〇〇七	二一、五二〇	四三九、五六六

關稅、統稅及鹽稅收入累年一覽表（單位：千元）

- 〔註〕一、二十七年收入ニ付テハ左ノ根據ニ基ク
- 1、關稅收入：……………外務省報告
 - 2、北支收入（關稅ヲ除ク）……………臨時政府決算
 - 3、中支統稅收入……………實績（連絡部報告）
 - 4、蒙疆稅收入……………實績（連絡部報告）
- 二、二十八年收入ニ付テハ左ノ根據ニ基ク
- 1、關稅收入……………上半期實績ヨリ推定
 - 2、北支收入（關稅ヲ除ク）……………連絡部作成臨時政府豫算
 - 3、中支收入（關稅ヲ除ク）……………推定
統稅月額四百五十萬元
 鹽稅月額五十萬元
 阿片收入月額五十萬元
 - 4、蒙疆收入……………聯合委員會及三政府豫算
- 三、「其他」ノ欄ハ中支ニ於テハ阿片收入、蒙疆ニ於テハ稅收入ノミヲ掲ゲタリ

- 〔註〕一、關稅收入ニ付テハ
- 1、海關統計ニ據リ、一九二九年ハ一海關兩〇、五五八元トシテ豫算シタリ
 - 2、輸入税、輸出税、船鈔ノ合計、尙一九三〇年迄ハ復進口税、内地子口税ヲ含ミ、又一九三一年ヨリハ救濟附加税、轉口税、一九三二年ヨリハ輸出入附加税ヲモ含ム
 - 3、一九三八年以降ハ占領地海關ノ收入トシ、一九三八年ハ實績、一九三九年ハ推定額トス
- 二、統稅收入ニ付テハ
- 1、一九三二年迄ハ財政年鑑「各年度國庫收入」、一九三三年度ハ岩井商務官ノ報告ニ據ル決算ナリ
 - 2、一九三三年度ハ參考トシテ中通資料「關府財政ヲ解剖ス」ガ同年度稅收トシテ掲載スル處ヲ示ス、何レモ會計年度ニ據ル
- 三、鹽稅收入ニ付テハ
- 1、一九三五年迄ハ岩井商務官、一九三六年ハ加藤鹽務官ノ報告スル實收額ニシテ何レモ曆年トス
 - 2、一九三八年ハ臨時政府管内ノ稅收入ノ實績トシ、一九三九年ハ臨時政府、維新政府及蒙疆政權管内ノ稅收入ノ推定額トス

- 〔註〕一、關稅收入ニ付テハ
- 1、海關統計ニ據リ、一九二九年ハ一海關兩〇、五五八元トシテ豫算シタリ
 - 2、輸入税、輸出税、船鈔ノ合計、尙一九三〇年迄ハ復進口税、内地子口税ヲ含ミ、又一九三一年ヨリハ救濟附加税、轉口税、一九三二年ヨリハ輸出入附加税ヲモ含ム
 - 3、一九三八年以降ハ占領地海關ノ收入トシ、一九三八年ハ實績、一九三九年ハ推定額トス
- 二、統稅收入ニ付テハ
- 1、一九三二年迄ハ財政年鑑「各年度國庫收入」、一九三三年度ハ岩井商務官ノ報告ニ據ル決算ナリ
 - 2、一九三三年度ハ參考トシテ中通資料「關府財政ヲ解剖ス」ガ同年度稅收トシテ掲載スル處ヲ示ス、何レモ會計年度ニ據ル